

同窓さふさ

第52号

2018年12月発行
(平成30年12月)

千葉県立匝瑳高等学校
同窓会事務局
〒289-2144 千葉県
匝瑳市八日市場イ1630
TEL. 0479-72-1541
FAX. 0479-73-6146
代表：佐藤正樹

同窓会報年1回発行☆各家庭に1冊配布☆最新情報はHPへ

社会に貢献 フレッシュ社会人

新社会人として歩み始めた同窓会員の3人。
大学ないしは大学院での学びをもとに、それぞれの職種で
仕事に励んでいます。

栄養教諭・食の指導、学校給食の管理

子どもたちの夢を叶える手助けをすることで社会に貢献したいと考えています。安心・安全で美味しい給食を提供するだけでなく、集団や個の状況に応じた食に関する指導を行い、生涯にわたって子どもたちが自ら食を管理できるように働きかけていきたいと思っています。



宇野 詩織 (高66)

化学メーカー・感光材研究

化学という側面から、次世代の新たな価値を創出したいと考えています。化学メーカーが携わる製品は、医薬品の原料から電子デバイスの微細加工材料まで多岐に渡ります。それらが世の中にあるのも、過去の地道な研究活動の成果です。私も企業に属する研究員として、次世代の新技术、新製品を創るという形で、社会に貢献したいです。



大門 幸生 (高63)

地方公務員・環境保全業務

身近な生活を守る仕事を通じて社会貢献したいと考えています。私たちが健康で安心して暮らせる環境の維持向上に真摯に取り組むことは、その地域をはじめ、社会や未来への貢献にもつながると考えます。これからの社会人人生の中で、その時の自分にできることを考えていきたいです。



田邊 晴香 (高63)

同窓会の定例総会は、毎年6月の第4日曜日に開催しています。



平成30年度

新会長に 佐藤 正

平成30年度 匠瑛高等学校同窓会 一般会計予算

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

収入の部	合計	7,736,000 円
支出の部	合計	7,736,000 円
差引残高		0 円

収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	4,971,527	562,306	4,409,221	前年度から繰り越し
会費	1,800,000	1,800,000	0	
入会金	930,000	936,000	▲6,000	全日制303名 定時制7名
繰入金	0	2,000,000	▲2,000,000	京葉銀行スーパー定期
寄付金	30,000	30,000	0	
雑収入	4,473	4,694	▲221	名簿売上、預金利息
収入の部計	7,736,000	5,333,000	2,403,000	

支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会議費	500,000	500,000	0	総務部、文化部、幹事会、支部総会
事務費	120,000	95,000	25,000	事務通信費、印刷費
旅費	60,000	60,000	0	会務旅費(学校/会長)
慶弔費	50,000	50,000	0	役員等
振込手数料	20,000	20,000	0	会費振込手数料
会報発行費	2,850,000	2,850,000	0	印刷費、発送費
補助費	1,000,000	1,000,000	0	母校教育活動への補助
H P管理費	166,752	162,864	3,888	ホームページの管理
予備費	469,248	595,136	▲125,888	
特別会計へ	2,500,000	0	2,500,000	
支出の部計	7,736,000	5,333,000	2,403,000	

特別会計

(単位：円)

			備考
前年度繰越	13,084,554	13,084,554	
支出の部		0	一般会計へ
収入の部	2,500,000		一般会計より
次年度繰越		15,584,554	

平成29年度 匠瑛高等学校同窓会 一般会計決算書

(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

収入の部	合計	8,904,774 円
支出の部	合計	3,933,247 円
差引残高		4,971,527 円

収入の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	562,306	562,306	0	
会費収入	1,800,000	1,702,000	▲98,000	
入会金収入	936,000	930,000	▲6,000	全日制304名 定時制6名
繰入金	2,000,000	5,052,113	3,052,113	京葉銀行スーパー定期
寄付金収入	30,000	658,338	628,338	総会懇親会剰余金・さふさ51号広告掲載料 高校4回から寄付(560,138円)
雑収入	4,694	17	▲4,677	利子
収入の部計	5,333,000	8,904,774	3,571,774	

支出の部

(▲印：減、単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	500,000	429,898	70,102	総務部会・文化部会・幹事会・支部
事務費	95,000	119,079	▲24,079	事務通信費・印刷費
旅費	60,000	54,500	5,500	会務旅費
慶弔費	50,000	0	50,000	
振込手数料	20,000	16,216	3,784	会費振込手数料・振替手数料
会報発行費	2,850,000	2,797,295	52,705	印刷費・発送費
補助費	1,000,000	353,395	646,605	母校教育活動への補助
H P管理費	162,864	162,864	0	
予備費	595,136	0	595,136	
支出の部計	5,333,000	3,933,247	1,399,753	

特別会計

(単位：円)

科目	収入	支出	備考
一般会計へ	0	5,052,113	
定期預金受取利息	685		千葉銀行/京葉銀行
定期預金預け入れ		685	
合計	685	5,052,798	

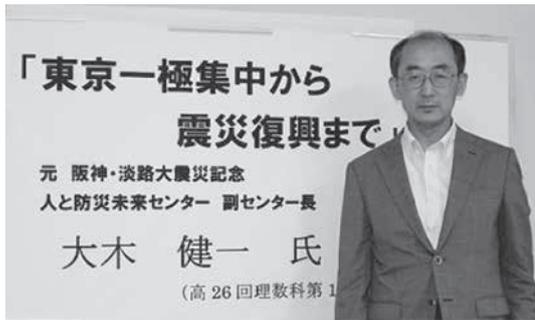
財産目録

(▲印：減、単位：円)

	H29年3月31日	H30年3月31日	差額	
一般会計	現金	103,647	94,975	▲8,672
	ゆうちょ銀行 当座預金	154,640	1,841,130	1,686,490
	ゆうちょ銀行 通常貯金	304,019	3,035,422	2,731,403
	一般会計 合計	562,306	4,971,527	4,409,221
特別会計	千葉銀行 定期預金	3,031,756	3,032,013	257
	京葉銀行 スーパー定期	5,052,113	5,052,541	428
	京葉銀行 スーパー定期	5,052,113	0	▲5,052,113
	ゆうちょ銀行 定期貯金	5,000,000	5,000,000	0
	千葉興業銀行 スーパー定期	0	0	0
特別会計 合計	18,135,982	13,084,554	▲5,051,428	
総資産	18,698,288	18,056,081	▲642,207	



記 念 講 演



私は、昭和55年（1980年）に国家公務員となり、国土庁や国土交通省、外郭団体などに36年勤務しました。今日は、私自身が関わった仕事の中で印象深かったことを3点、話したいと思えます。

第1は、「東京一極集中」や「地方創生」に関することです。

私たちの世代は、戦後の復興が終わった昭和30年に生まれ、ちょうど身体が成長する子ども・少年時代に日本は高度経済成長を遂げました。しかし、その過程で大都市圏への人口や産業の集中が進

み、過密、過疎、地域格差という問題が深刻になりました。この問題に対処し、「国土の均衡ある発展」を実現するために計画をつくり、政策を推進することが国土庁の主要な仕事であり、そこに興味があつて私は入庁しました。

日本全体の計画、当時は「全国総合開発計画」と呼んでいましたが、それに関する仕事は、資料をつくり議論し計画文書をまとめるという、クールというか、比較的アカデミックなことが多くありました。

一方、地方振興となると、熱い心を持って地域の利益を最大化する姿勢が求められます。私はある地域を担当する課

長をしたことがありました。地元選出の国会議員の先生は予算確保が大きな関心事ですが、財務省主計局に行くと、「こんな人口の少ない地域にこんな大きな予算が必要なのか？」と言われたりもしました。

さて、「国土の均衡ある発展」は、実現したでしょうか。全然ダメじゃないか！とお叱りを受けるかもしれません。しかし、過疎、過密、格差のうち、過密と格差の2つはかなり改善されました。ところが過疎だけは止まらず、いまや地方は消滅の危機にあると言われるようになってしまいました。

東京、特に都心部への一極集中は異常

平成29年度 事業報告

本部関係	事業内容	会 場
29.6.25	定例総会 ※会長に林勝美氏（高26）を選出 ※記念講演 鈴木廣行氏（高25） 「時速900kmで移動する空の仕事から学んだこと ～外から見た日本」	視聴覚室
29.7.27	第1回総務部会	西城館
29.11.30	第2回総務部会	西城館
30.2.10	新年幹事会	梅田家
30.3.9	全日制同窓会入会式 高70回	体育館
30.3.10	午前全日制卒業式	体育館
	夜定時制卒業式・同窓会入会式 定64回	食堂
30.4.9	午前全日制入学式	体育館
	夜定時制入学式	食堂
30.4.25	第3回総務部会	西城館
30.5.29	幹事会	西城館
30.6.23	母校文化祭（葛陵祭） ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	ギャラリー
30.6.	ホームページ更新	

体育部	事業内容	会 場
29.7.12	第1回体育部会	横芝光町
29.10.13	第2回体育部会	横芝光町
29.10.18	シニアゴルフ大会	富里ゴルフ倶楽部
30.3.5	第3回体育部会	横芝光町
30.4.18	第4回体育部会	横芝光町
30.5.23	親睦ゴルフ大会	長太郎カントリークラブ
30.5.26	体育部会引継式	港屋

文化部	事業内容	会 場
29.7.4	第1回文化部会	西城館
30.5.15	第2回文化部会	西城館

平成30年度 事業計画

本部関係	事業内容	会 場
30.6.24	定例総会	視聴覚室
30.7.25	第1回総務部会	西城館
30.11.26	第2回総務部会	西城館
31.2.2	新年幹事会	梅田家
31.3.8	全日制同窓会入会式 高71回	体育館
31.3.9	午前全日制卒業式	体育館
	夜定時制卒業式・同窓会入会式 定65回	食堂
31.4.9	午前全日制入学式	体育館
	夜定時制入学式	食堂
31.4.	第3回総務部会	西城館
元.5.	幹事会	西城館
元.6.22	母校文化祭（葛陵祭） ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	ギャラリー
元.6.	ホームページ更新	

体育部	事業内容	会 場
30.7.15	第1回体育部会	
30.9.27	第2回体育部会	
30.10.24	シニアゴルフ大会	山田ゴルフ倶楽部
31.1.	第3回体育部会	
31.4.	第4回体育部会	応接室
31.4.	第5回体育部会	
元.5.	親睦ゴルフ大会	

文化部	事業内容	会 場
30.7.3	第1回文化部会	西城館
元.5.	第2回文化部会	西城館

会 報	事業内容	会 場
30.8.28	第1回会報編集委員会	応接室
30.10.2	第2回会報編集委員会	応接室
30.11.6	第3回会報編集委員会	応接室
30.12.4	第4回会報編集委員会	応接室
30.12.	さふさ52号発行	

創立90周年教育助成事業

第4期 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日事業決算

収入の部		支出の部	
第4期事業費	1,200,000	理数科振興費	333,811
奨学金の一部返金	10,000	教育補助費	313,777
決算利息	89	奨学金	200,000
		定時制振興費	42,568
		教育助成事業会計へ繰入	319,933
合計	1,210,089		1,210,089

総額は1,200万円。120万円を年間の事業予算として、教育助成事業を行うものとし、
 ・全日制においては、進学指導重点校としての教育活動費用を援助する。
 ・定時制においては、厳しい教育環境下にいる生徒の教育活動の活性化を援助する。
 ・奨学金は、5万円（給付4万円・貸与1万円）

財産目録（教育助成事業）

	H29年3月31日	H30年3月31日
普通預金 銚子信金	9,224,731	8,344,664
合計	9,224,731	8,344,664

創立90周年記念事業残余金

収入の部			
決算利息	46	次年度繰越	46
合計	46	合計	46

・90周年記念事業の残余金については、100周年記念事業の準備資金として同窓会が管理する。

財産目録（創立100周年記念事業準備金）

	H29年3月31日	H30年3月31日
普通預金 銚子信金	4,659,211	4,659,257
合計	4,659,211	4,659,257

創立90周年記念教育助成事業第5期

収入の部		支出の部	
第4期からの繰越金	8,344,664	普通預金（銚子信金）	7,184,664
奨学金の一部返金	40,000	第5期事業	1,200,000
合計	8,384,664	合計	8,384,664

第5期(平成30年度)事業予算

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
第5期事業費	1,200,000	1,200,000	0	平成30年度教育助成事業費
合計	1,200,000	1,200,000	0	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
理数科振興費	380,000	380,000	0	理数科の課題研究補助
教育補助費	500,000	500,000	0	文化的事業の助成
奨学金	200,000	200,000	0	大学進学者対象奨学金
定時制振興費	120,000	120,000	0	定時制生徒の教育支援
合計	1,200,000	1,200,000	0	

創立90周年記念事業残余金

収入の部		備考	
前期繰越金	4,659,257		
決算利息	46		
合計	4,659,303	銚子信金	



であり、大規模災害時のリスクを考えれば郊外や他の都市圏に分散させるべきとは思いますが、経済合理性や市場原理によって現実はそのならないのが悩ましいところではあります。

ふるさと匠瑛市とは、残念ながら仕事上の関わりはありませんでした。この地域は首都圏の中でありながら首都圏計画上の何の位置づけもされず、人口は増えもしないが減りもしない状態が続きました。

しかし既に匠瑛市の人口も減少ステータジに入りました。今後は、まずは人口減少を前提として、そこに住む人が安心して幸福に住み続けられる地域を目指して欲しいと思います。他方で、いわゆる流入人口を増やすことは、東京や成田空港からの近さを考えれば、十分可能性はあ

るでしょう。

第2は、「バブル期の土地対策」です。地価高騰や土地問題に根本的に対処するために1989年に「土地基本法」が制定され、土地政策審議会での議論が行われました。私は課長補佐として審議会事務局を担当したので、重要な仕事をしていたという意識はありましたが、同時に矛盾も多く感じました。

財政・金融当局の危機感の欠如、民間土地取引を行政指導で価格規制するという市場経済とは矛盾する対策、地価が頂点に達してから「鞭と鞭」の審議会答申を出すなどの政策の後追い、手遅れなど

第3は、阪神・淡路大震災と東日本大

震災です。1995年の阪神・淡路大震災では6400人以上の命が失われました。この震災の経験と教訓を伝えるとともに防災のための研究や研修を行う「人と防災未来センター」が2002年に神戸市内に開館しました。修学旅行生をはじめ、毎年数十万人が訪れる集客施設にもなっています。

私は2011年から4年数ヶ月、副センター長としてそこに勤務しました。研究員が行う研究や研修の管理・指導や、国関係や海外からの来訪者の案内をするのが仕事です。自分が直接経験していない震災をお客様に説明するのは少し気が引けるものですが、一生懸命説明すると「あなたのお家は？ご家族は？」と尋ねられることもありました。

阪神・淡路大震災における死因の約8

割は家屋倒壊や家具の転倒による圧死や窒息死でした。もし、全ての建物が最新の耐震基準を満たしていたら、死者の数は10分の1かそれ以下だったろうという見方もあります。

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえれば、平時の備えとして最も重要なことは、地震で倒壊しない家に住むことです。耐震性に不安のある古い家に住んでいたなら耐震診断をして必要なら補強工事をしてください。タンスや本棚はしっかりと固定しましょう。

最低3日分の水と食料、懐中電灯などの防災グッズ、そして家族との連絡方法の共有も大切ですが、役に立つのは生き延びた後です。

学校だより

～ 母校の“今”～

伝統受け継ぐ高校生活

校長 加瀬 健司



同窓生の皆様には、日頃より母校・匠瑤高校の教育活動に対しまして、物心両面にわたり、多大なるご支援・ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

母校匠瑤高校は、現在95年目、100周年も近づいて参りました。今年度は1・2年生7クラス（普通科6クラス、理数科1クラス）、3年生8クラス（普通科6クラス、理数科1クラス、英語科1クラス）のクラス構成です。現2年生より英語科が廃止され、普通科内に国際理解コースを設置しまして、韓国語や中国語の授業が選択で履修できるようになりました。

平成25年度より進学指導重点校に指定され、進学指導の面では特に熱心に指導しているところです。昨年3月の卒業生は国公立大学現役55名が合格し、過去最高の合格者数を記録しましたが、残念ながらこの3月は減少してしまいましたが、挽回を期して職員・生徒ともに熱心に取り組んでいるところです。この4月に、ベネッセのスタディーサポートという模擬試験で2年生の伸び率が首都圏で一番、また7月の記述模試でも県内の進学重点校の中で伸び率が1番だったとの報告を受けました。

現在、約85%の生徒が部活動に加入、ほとんどの部活動は県大会以上に出場しています。この春は弓道部が県大会で男子が団体優勝をしました。また、陸上競技部はハンマー投げと円盤投げで2種目、2名が関東大会に出場しました。バスケットボール部の女子が関東予選県大会でベスト8、県立高校では1校だけだそうです。また、秋には、弓道部女子個人で関東選抜大会で準優勝しております。文化部では美術部が全国総合文化祭の常連校で活発に活動しています。また、青少年赤十字の海外派遣事業でJRC部2年生女子がモンゴルに派遣、ライオンズクラブの国際交流事業で2年生男子がマレーシア・インドネシアに派遣されるなど、様々な分野で活躍をしています。これもひとえに先輩方のご支援・ご指導の賜物と感謝申し上げます。

生徒は先輩方の伝統の気質を受け継いで、明るく元気、素直でまじめ、やる気に満ち、遊び心もあり、活力ある高校生活を送っております。勉強も部活動も学校行事もやり切って、満足して卒業していく名門校を目指しております。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 部活動・同好会の活動状況 ◆◆◆

平成30年度は、運動部13部、文化部16部、3同好会に、9割近くの生徒が所属して活動しています。主な活動実績（4月～9月）をお知らせします。

◆ 運動部 ◆

【柔道】

総合体育大会県予選

（男子・団体／個人）

【剣道】

関東大会県予選（男子団体）

関東大会県予選（女子団体）

【野球】

選手権大会（ベスト16）

秋季県大会（ベスト32）

【バレーボール（男子）】

関東大会県予選

総合体育大会県予選

【バレーボール（女子）】

総合体育大会県予選

【弓道】

関東大会県予選（男子団体） 優勝

関東個人戦選手権（2位）
行木彩乃

【硬式テニス】

関東大会県予選

（男子・団体・複式ベスト32・単式）

関東大会県予選（女子・単式）

総合体育大会県予選

（男子団体）（女子団体ベスト32）

【卓球】

関東大会県予選（男子・団体複式）

総合体育大会県予選（男子・団体複式）

【ソフトテニス】

関東大会県予選（男子・個人）

総合体育大会県予選

（男子・団体個人）（女子・個人）

【バドミントン】

関東大会県予選

（男子・団体32）（女子・団体）

【バスケットボール（男子）】

関東大会県予選（ベスト32）

総合体育大会県予選（ベスト32）

【バスケットボール（女子）】

関東大会県予選（ベスト8）

総合体育大会県予選（ベスト16）

※高体連年間ランキング8位

ウィンターカップ千葉県予選出場

【サッカー（男子）】

総合体育大会一次トーナメント

（1回戦敗退）

選手権大会二次トーナメント

（2回戦敗退）

【サッカー（女子）】

総合体育大会（1回戦敗退）

選手権大会（予選リーグ敗退）

【山岳】

総合体育大会県予選

夏合宿（白馬3泊4日）

◆ 文化部 ◆



美術部 五十嵐叶恵



JRC部 モンゴルにて

【美術】

全国高等学校総合文化祭 美術工芸

油彩の部（五十嵐叶恵）

第19回高校生国際美術展（佳作）

第68回学展（入賞）

【演劇】

第12地区大会

優秀演技賞・特別賞・衣装部門賞受賞

【音楽】

第73回千葉県合唱祭出場

同窓会総会にて作品展示

【茶道】

新歓行事・文化祭で茶会

同窓会総会にて呈茶

【将棋】

総合文化祭将棋大会出場

第31回高校竜王戦出場

【ESS】

ネイティブのALTとの会話を通して異文化理解

【ギター】

平成30年度 教職員名簿 (全日制・定時制) 2018. 4. 1現在

職名	教科	氏名	卒回
全日制			
校長		加瀬 健司	高30
教頭		田中 康之	
		湯上 準一	
		鶴澤 忍	高31
教諭	国語	平山 淳一	高32
		青澤 晴美	高32
		小高 清乃	
		佐藤 拓	
		津幡 尚子	
		佐藤 弘之	
		鈴木 哲也	
教諭	社会	田村 和昭	
		田村 公孝	
		藤田 利秋	
		早川 直志	高62
		加瀬 義徳	高24
		松本 典子	
		大木 宏之	高27
教諭	数学	宇野 典男	高30
		木内 俊夫	高33
		林 健一	高34
		野本 貴志	
		津嶋 康徳	
		大塚 俊介	
		八木 裕樹	高59
		宮内 瑛之	
		古市 孝幸	高26
		田邊 等	
教諭	理科	向後 伸志	
		佐々木輝彦	
		渡久山朝一	高35
		角田 利幸	高54
		宮内 千尋	高57
		上山 優香	
		加藤 文孝	
講師		鮎田 航平	
教諭	保健体育	岩瀬 透	
		加瀬 聡	
		越川 恭伸	
		松本 剛史	高40
		金杉 恭尚	高51
平山 尚樹			
教諭	音楽	吉井 幸子	
講師	美術	清岡由麻里	

職名	教科	氏名	卒回
教諭	書道	鈴木 幸子	
教諭	英語	齊藤 清	
		菅生 隆	
		塚本 雅之	
		高岡 和子	高32
		三浦 衛	
		渡邊 寿恵	
		根本 良明	
		門脇 舞	
		上田 大樹	
		花澤 貞男	
		子安 範子	
		及川 和弥	
		講師	
非常勤	中国語	姜 寅星	
	韓国語	鄭 昇姫	
教諭	養護	石田 典子	
実習助手		外口 有子	
		宇井 昌子	
		榊原 紫乃	
		中野 由梨	
事務長		岡田 稔	
		齋藤 利恵	高41
主査		小池 徹	
		井上 千波	高65
主事		加瀬美佐子	
		渡邊 任美	高57
日々雇用		石橋 美信	
		竹内 正巳	
		村上 義孝	
嘱託学校技能員		来栖 郁代	
A L T	英語	ケリツグ・シイゴ	
		スケール・ジャルワーカー	
		スクールカウンセラー	
定時制			
教頭		塚本 宏	
教諭	国語	奈良崎 俊一	
		小原 好子	
	社会	高山 茂明	
		石神 綾乃	
	数学	宮徳 和浩	
	理科	星 光	
	保健体育	卯月 博幸	
英語	六川 俊		
養護	坂本 光花		
主査		高野 善美	高43
非常勤	家庭	向後友加里	高54



弓道部 (男子団体)

関東大会出場
(石毛隼也・森敬規・野口廉太・橋本梨央)
県高校弓道遠の大会 (3位)
苅谷若菜



陸上競技部 青柳真司

総合体育大会県予選
(男子・複式・単式・女子・複式・単式32)
【陸上競技】
ハンマー投げ (男子)
関東大会8位 (青柳真司)
円盤投げ (男子)
関東大会出場 (川口雄太)



陸上競技部 川口雄太

【吹奏楽】
千葉県吹奏楽コンクール高校
B部門 銀賞
【書道】
第67回千葉県小中高校席書大会
千葉日報社賞

平成29年度卒業生の進路状況

国公立大22名・私大416名合格

平成29年度卒業生は、進学指導重点校第3期生です。「高い目標を持ち、最後まであきらめさせない!」を目標に、一人ひとりの進路希望と能力に応じた、きめ細やかな進路指導を目指した教育をしてきました。

29年度卒業生の特徴は、文系で私大志向が強かった点ですが、首都圏私大の定員の厳格化の影響を受けてしまいました。

国公立大は、筑波大(1)・千葉大(2)・茨城大(8)・信州大(1)・千葉県立保健医療大(2)・首都大東京(1)・神奈川県立保健福祉大(1)など、合計22名が合格しました。

また、私立大学は、慶応大(1)・早稲田大(3)・東京理科大(3)・明治大(9)・青山学院大(3)・立教大(4)・中央大(4)・法政大(6)

など延べ416名の合格者を出しました。

本校では、国公立大を主眼におき5教科7科目で勝負し、全国を視野に入れた出願指導を徹底していくことが重要です。これからも、この指導を徹底し、学校が一丸となり生徒の進路実現を実現していきたいと考えています。

(進路指導主事 佐々木輝彦)

卒業生の合格者数一覧 (延べ人数)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
国公立大	22	55	42
私立大	416	639	548
国立短大	1	1	1
公立短大	8	11	15
準大学	0	0	0
専門学校	55	40	32
留学	0	0	0
公務員就職	8	8	10
民間就職	2	1	1
予備校など	35	25	35

- 【写真】
写真甲子園エントリー
文化祭作品展示
- 【文芸】
文化祭で文芸誌『青風』発行
- 【天文気象】
第8回サイエンススクールフェスティバル出版
- 文化祭などでプラネタリウム上映
- 【生物】
文化祭に参加
- 【JRC】
日本赤十字社の国際交流事業でモングル派遣(平山ひかり)
西日本豪雨災害募金
北海道胆振東部地震募金
- 【華道】
文化祭作品展示
- 【電子工学】
文化祭に参加
- 校内行事で写真撮影
文化祭のオープニング・エンディング映像の作成
- ◆同好会◆
【SF同好会】
文化祭に参加
(グッズ販売・ゲームイベント実施)
【クイズ同好会】
文化祭に参加(グッズ販売)
【ダンス同好会】
新歓行事・文化祭でステージ発表
匝瑳市の長福寺にてイベントに参加
- 東総地区連合音楽祭に参加
長期休業前に校内でライブ

支部の話題

同窓会各支部では、各地区で特色のある活動を行っています。支部総会では、各支部からの依頼を受けて、同窓会長、校長、事務局長などが参加しています。

四街道支部

7月8日(日)10時30分から四街道市文化センターにおいて、四街道支部同窓会第20回総会が宮田省一氏(高13)司会のもとに開催された。

母校から加瀬健司校長(高30)、母校本部から佐藤正樹会長(高26)、宇野典男事務局長(高30)が出席、支部会員36名参加のもとに母校及び同窓会の近況報告があった。

佐藤正樹会長は、四街道駅から文化センターに向かう途中見た、「陸軍野戦砲兵学校跡」の碑や江戸時代末期佐倉市下志津原から射塚(大土手山、別名フランス大尉の名でルボン山)に向けて、大砲のためし打ちをしていた場所の話がされた。四街道市の近代史の話として母校の『蕨の葉』の学び舎と



「改築後」の学び舎を経験され、支部の活動、母高を盛り上げたいと抱負を話された。

加瀬健司校長より、本校創立95年を迎え、100周年の記念行事に向けて協力をお願いがあった。昨年からの8クラスが1クラス減(25年間続いた英語科が無)、普通科の中に「国際理解コース(中国語・韓国語)」を設けることで、「理型コース」「文型コース」「国際理解コース」の3つの中から選択することになった。生徒の進学校希望に変化が生じ、本年

から生徒募集(学校・塾・予備校などを訪問)に力を注ぎたい。全国に行っているスタディーサポート模擬テストの結果、「英・数・国」の伸び率は首都圏内で一番だったとの報告があった。現在部活動に85%の生徒が頑張っており、スポーツ(弓

道部男子が県で優勝・ハンマー投げ円盤投げの2名が関東大会に、女子のバスケが県で8位)・文化(美術部が3年連続全国高校総合文化祭に出場)など活躍している旨の報告があった。

宇野典男事務局長は、四街道支部には4回目の出席。名簿の発行が来年1月予定のため、住所変更、知っている方の住所案内、12月のさふさ52号の発行に向け投稿のお願いなどがあった。



総会では、工藤博孝議長のもとに、支部の活動報告並びに新年度事業計画の報告等が承認され、会長には工藤博孝氏(高11)が再任、副会長に宮田省一氏(高13)、事務局長に金杉理氏(高17)、会計に小山健氏(高10)、会計監査に島田啓蔵氏(高15)が再任承認された。

総会終了後、「私のウォーキング歴」と題し、平野登世司氏(高10)の講演会が開催された。退職後県内のJR線(武蔵野・京葉線除く)の駅に立ちよることから始めた。次に大学駅伝箱根コース片道を4日間で完歩、これを始めとして、東海道五十三次500キロ延20日間、

中山道534キロ延23日間、甲州街道220キロ延7日間、日光街道150キロ4日間、奥州街道3日間、その他、県内県外の毎年開催されているウォーキング大会19カ所などに参加し、大会のない日は若葉区都賀の自宅から1日15〜20キロは毎日歩いていると話され講演会は終了した。

続いて島田啓蔵氏(高15)の司会のもとに、懇親会が行われ、それぞれ出席者全員の近況報告などに話も弾んだ。おもな話では「大きな声はいきなり出たわけではなく日々の鍛錬がこの声になった。今でも鍛錬している」「最近歴史(万葉集)に興味をもった」「四街道市の北高校に花がなかったので桜の木を植樹、今は立派な木に育った」「匝瑳高校に越境入学した」「就職困難な時代に自分で会社を設立して今日に至った」「ここに出席された方々は健康であり、まさに勝ち組である」など、楽しい思い出話に花が咲いた。そして、今回は遠路はるばる女性の参加者も多く見られ華やかなうちに、また、高44回の女性の参加や久古榮二氏(高5)、最

後に石田實氏(高2)は、腹の底から大きな声が出るのは健康の秘訣と、詩吟と民謡を披露され懇親会も皆さんとともに、和やかなうちに終了した。

工藤 博孝(高11)

京葉支部

京葉支部総会は5月19日(土)千葉京成ホテルミラマールにて開催され、67名の参加を得て盛大に行われた。先ず、永年にわたり本会の発展にご尽力され、急逝した、大三川博道氏(高10)、渡辺五久男氏(高14)のご冥福を祈って全員で黙禱を捧げた。

次いで、石井稔会長(高18)の挨拶に続き、ご来賓の母校加瀬健司校長(高30)、林勝美同窓会長(高26)からご挨拶を頂いた。その後、前年度の事業報告と会計報告、今年度の事業計画と予算案件等が審議され、全員の議案が全会一致で了承された。なお役員は、石井稔会長以下、幹事長に山崎文彦氏、事務局長に鎌形豊氏、会計に大川悦子氏、幹事に金谷隆氏、角田勝美氏、渡辺敏明氏(以上高25)が再任され、今年度も会の運営は25回生が担当となる。

講演会は、千葉県議会議員佐藤正己氏(高11)から、「県政の目指すべき課題」(人口減少社会の到来を控え)という演題

でお話し頂いた。充実した資料をもとに人口減少社会の到来、千葉県が誇る充実した交通インフラ、道路ネットワークの整備、圏央道整備による波及効果、成田空港の更なる機能強化による効果などについて、熱心に語られ大変貴重な、そして興味深い講演となった。

懇親会においては、石井会長の瑞宝小綬章受章、鈴木勝彦氏（高18）の藍綬褒章受章をお祝いし花束贈呈が行われた。また、初参加者の紹介があり、最後に恒例となつている匠磋中・匠磋高の校歌を合唱し散会となった。

総会以外の支部の活動としては、9月26日（水）久能カントリークラブで112名参加のゴルフ大会が行われた。また、日帰りバス旅行は、11月24日（土）に、鈴木貫太郎記念館、戸定歴史館、戸定邸、牛久シャトーを見学する予定である。

山崎 文彦（高25）



支部事業

平成29年度 報告

支部関係	支部名	会場
29.7.8	匠磋会豊和支部	宇しろ
29.7.9	匠磋会匠磋支部	内山屋
29.7.17	四街道支部	四街道文化センター
29.8.19	千漣支部	嘉儀屋
29.8.20	野栄支部	岩沢
29.8.26	旭匠会	昇月
29.9.10	光支部	横芝光町市民会館
29.9.23	匠磋会吉田支部	紫季
30.4.14	匠東会	アルカディア市ヶ谷
30.5.19	京葉支部	ホテルミラマーレ
30.5.19	飯匠会	幸喜
30.6.9	匠磋会総会	吾妻庵
30.6.16	横匠会	富士屋
	多古支部	
	海上支部	
	銚匠会	
	匠磋会豊栄支部	

平成30年度 計画

支部関係	支部名	会場
30.7.8	匠磋会豊和支部	宇しろ
30.7.8	匠磋会匠磋支部	内山屋
30.7.8	四街道支部	四街道文化センター
30.8.18	千漣支部	嘉儀屋
30.8.24	多古町匠高会	萬勢庵
30.8.25	旭匠会	昇月
30.8.26	野栄支部	岩沢
30.9.9	光支部	横芝光町市民会館
30.9.23	匠磋会吉田支部	紫季
31.4.	匠東会	アルカディア市ヶ谷
元.5.	京葉支部	ホテルミラマーレ
元.5.	飯匠会	幸喜
元.6.	匠磋会総会	
元.6.	横匠会	
	海上支部	
	銚匠会	
	匠磋会豊栄支部	

匠東会（東京支部）



平成30年4月14日（土）、アルカディア市ヶ谷（私学会館）において、第20回匠東会総会が84名の参加を得て、盛大に行われた。

「Hola!」「¿Como están?」と、須郷隆雄副会長（高17）の開会で始まる。来賓の紹介に続き、宮崎晴可会長（高15）が講師講演の紹介、抽選会景品提供への協力御礼等と共に、開会の挨拶を行った。続いて林勝美同窓会長（高26）から、「読めない書けない何処にある」匠磋の宣伝、母校の発展に頑張るとの決意が述べられた。加瀬健司校長（高30）からは9年ぶりの卒業生校長であること、陸上部キャプテンだった思い出、県内公立高校の8校校長が匠高卒業生であることに加え、進路状況や今後の取り組みを含めご挨拶を頂いた。

第1部総会に先立ち、物故者のご冥福を祈り、黙祷を捧げる。宮崎会長の議事進行のもと、活動報告並びに役員人事、会計報告及び大友總一郎会計監事（高13）による監査報告が行われ、満場一致で承認された。20周年記念事業、美術鑑賞会、史跡ウォークなど、今年度の活動内容も報告する。「匠東会創立20年を顧みて」と題し、創立者である飯島英胤名誉会長（高6）が創設からこれからの方向までを熱く語られた。

第2部講演会は「素粒子と音楽」と題し、東京大学名誉教授小林富雄先生（高20）の講演とクラリネット演奏を頂く。素粒子の究極理論は「超ひも理論」、物質の究極の要素は「粒子」ではなく「ひも」だということらしい。高尚で難解な話を、分かり易く講演して頂いた。

シューベルトの「糸を紡ぐグレートヒェン」と「鈴懸の径」のクラリネット演奏は素晴らしかった。体が自然にスイングし、「ブラボー」と叫びたくなった。宇宙の謎を解くカギは共鳴であり、音楽に通じるとのことだった。

第3部懇親会は、森幸男副会長（高17）と前林和彦幹事（高26）の進行のもと、90歳になる太田昭吉先輩（中17）が10年後もまたここで、かくしやく 雙鑠たる乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。

森茂代（高7）・中野幸子・大橋正子幹事（高8）による、お楽しみ抽選会や小林先生のアンコール演奏、25回卒一同の紹介と応援団長だった林同窓会長のエールもあり、大いに盛り上がった。

最後にピアノ伴奏付きで、匠中校歌と匠高校歌を声高らかに合唱する。母校の益々の発展と同窓各位のご健勝を祈念し、抽選会の銘酒、銘茶、多古米、焼売、麵つゆを手土産に、再会を約し「Nos vemos」「Adiós」と散会した。

須郷 隆雄（高17）

多古町匝高会

いつ果てるのかわからない猛暑の夏もいましばらくの辛抱かなと思う8月下旬に、多古町の匝高高校同窓会を開催することができた。諸般の事情で、開催できない状況が続いたので、同窓生の皆様には久しぶりにお目にかかることができた。

平成30年8月24日、残り少なくなつた料理店の一つ「萬勢庵」に集まつたのは、23人の元気な中高齢者。

加瀬校長と宇野事務局長のご臨席を賜り、総会では新会長に伊藤裕巳（高26）が就任、「これから同窓会が続くことに努力しましょう」と決意を語った。

片岡 秀行（高14）



干潟支部

干潟支部では年1回、毎年8月第3週に総会を開催している。

今年度は学校長や同窓会長、同窓会事務局長にも参加いただき、総勢21名で総会を行った。

総会では役員の改選などの議事を行ったほか、現在の高校の進学状況や部活動の活躍などを説明していただいた。参加者は後輩たちの活躍を誇りに思い、當時を懐かしみながら昔話に花を咲かせた。

伊知地正樹（高44）

飯匠会

飯匠会総会は、5月19日（土）に「幸喜」にて開催された。参加者は11名、来賓として母校事務局長の宇野典男氏のご出席をいただいた。

平成29年度の活動としては、入学生12名及び卒業生7名に記念品を贈呈し、葛陵祭PTAバザーへの協力として会員39名から251点のご協力をいただくことができた。

加瀬 正彦（高24）

トピックス

ふるさとの今 多古町

片岡 秀行（高14）

多古町という田舎はKFCもミスドもないためか、かつて香取郡市1市9町の中で小見川町に次ぐ2万人の人口を記録していたものの、最近では毎月高齢者の訃報が社会自然増の2倍以上となって1万5千人を下回る状況である。

若者の転出を止められないのは生活環境が良くないためだが、多古町は今10km圏内に就業人口2万人を超える成田空港があり、町内と芝山町の工業団地にも大手企業が多数の工場を稼働しているから職場は近いし、全国でも最初のグループとなった「幼保一貫教育を行っている多古こども園」がある。

都会の話題となっている待機児童の問題はなく、また、コンビニは9店舗、スーパーマーケットは2店舗、その他の量販店が5店舗、ファミレスが1店舗、銀行が3店舗、国保多古中央病院があり、職場も近く育児や教育にも優れた環境が用意されて実は大変生活しやすい街となっているのだ。

鉄道が無いとはいうものの、無料駐車場を備えたバスターミナルからは東京行き的高速バスがあり、成田空港へはシャトルバスが一日に20往復運転され所要20分で第2ターミナルへ横づけなのだ。

成田空港からは、鉄道としてJＲと京成

電鉄、航空路は日本最大の国際線に加え開港当時とは違って国内線も充実され、特にLCCの増便により北海道や関西・九州・沖縄方面へ旅行する場合は羽田空港やJR新幹線を使うよりはるかに便利で安上がりとなっている。

また、高齢者対策として平成24年に町内の空き店舗を利用して町が設置した「いきいき健康サロン」という施設がある。これは、当初シャッター商店街と化した繁華街の活性化を図ろうと計画されたものだが商店会が消極的なため運営協議会を設置して何をやろうかと、町主導でなく各種団体の代表者で検討した結果、とりあえず趣味の会合から始めてみようということで名前を「わーか・ちーと」（僅か・少しという地域の言葉）とし、当初は一日の来場者50人を目標として開館した。

学校帰りの児童が宿題やゲームを、手工芸教室では材料を納入していた道路向かいの小間物屋さんが協力、高齢者が囲碁・将棋・麻雀、同好会が音楽演奏練習や発表会をするというあたりから始まった。

数年後、この施設で「いきいき元気塾」というメニューができ、高齢者を対象に健康体操や健康に関するお話を専門の指導員により行うことになった。

その後1か所では足りないほどの参加希望があつて今では中央地区以外に久賀地区・常盤地区・中地区にも塾ができてそれでも参加希望者の全員を受け入れることができないほどの盛況だ。



多古町で行われている「いきいき元気塾」

元気塾は、一人一週間で1回という制限が設けられていて、各所毎日開催されるわけではないが健康志向が高まる傾向にある。ちなみに「わーか・ちーと」では毎回（午前と午後で開催される日もある）50人以上の参加者がある。

元気塾参加者のほとんどは女性なのが病気や寝たきりなどにならないように、自分の健康は自分で守ることが大事だと気が付いてくれれば結構だと思う。

健康維持のためには歩くのが一番体に負担にならないとか聞かすが、朝夕の栗山川遊歩道を散歩していると、必ず知り合いの何人かに会うことができる。

さくら・アジサイ・菜の花・コスモスと季節の花を楽しみながらジョギング・健康歩き・散歩など生活環境はだいぶ良くなってきた最近の多古町である。

「道の駅多古」は知名度が上がり、毎月・毎年訪れるという方がいる。また、ボランティアの活躍により篠竹の数が見事な「アジサイ園」となった本山日本寺もある多古町へ、いつか移住したいという方がいらっしやれば幸いである。

同期の話題

同期が集う同級生の話題が「同窓さふさ」に寄せられました。「同窓さふさ」では身近な同期の集まりや活動の情報をお待ちしています。

■ 師瑛21・1同期会

大関 正(高一)

師瑛中学校21回(S23年3月卒)、師瑛高校1回(S24年3月卒)の同期会を、平成30年5月27日(日)八日市場の「梅田家」を会場に開催した。(幹事・師瑛地区)

平成30年度 匠中21回・匠高1回卒業生 同期会

2018(平成30)年5月27日(日) 八日市場「梅田家」



片岡 工 大関 正
宮嶋 弘平 並木 達雄 内田 裕雄
椎名 素夫 根本 薫 土屋 敬徳
向後 忠 千本松和徳 林 秀夫
石橋 清
大関 正(高一)
大関 正
内田 裕雄
並木 達雄
根本 薫
土屋 敬徳
宮嶋 弘平
椎名 素夫
片岡 工
向後 忠

還暦を迎えた平成6年、第2回同期会を開催して以来毎年恒例となり、満88歳の今年は26回目の会合である。出席者は昨年より一挙に6人減って15人だった。全員昨年と同じ顔ぶれである。物故者も8人増えて116人、生存者は64人、居所不明が1人増の19人である。平均余命が5年と言え、毎年10人前後が鬼籍に入られても不思議はないが、昨年6月向後喜八郎さんの訃報に接した。病院の施設からである。身寄りがないので、同期会の案内状から連絡をしたとの事で火葬に立ち会ったが、施設職員2人と従兄弟と私の4人だけ。寂しくて遣りきれない気持ちだが、明日の我が身を思い、期日不明の旅立ちを前に考えさせられた。定刻、記念撮影のあと、片岡工さんの司会で椎名素夫さんが開会の挨拶、大関が経過報告、



向後忠さんの指示で物故者の冥福を祈って黙禱、出席者の自己紹介と近況報告の後、内田良一さんの乾杯の音頭で宴会に入る。病院の食事を知らない健康者は1人だけで、それぞれ何らかの病気を抱えている。中には、私は病気のデパートだと言う者も。それでも仲間と逢って語りたい!!という気持ちで、会場に足を向けさせているのである。山本秀夫さん、萩原勇美さんの欠席で今回は歌のない宴会になったが、話はそれぞれの席で盛り上がった。5時、東京方面に帰る電車の都合と、家族が迎えに来てくれる時刻が近づき、席を立つ人が多くなる。再会を約しつつ流れ解散となる。次回は、数えの「卒寿」で、新元号の最初の月だ。元年5月26日(日) 山武地区当番で梅田家を会場に開催の予定である。生きていられる事を願いながら今回の報告とする。

■ 山匠会 卒寿の集いを開く

幹事 鶴之澤正夫(中18)

中18の山匠会は3月7日横芝光町「坂東太郎」に於いて卒寿の集いを開催。次の11名が参加した。鈴木成尚(旭) 磯部五郎(流山) 疋田文雄(旭) 菅谷敏夫(香取) 見世川弘治(旭) 並木昭典(多古) 市原敏男(板橋) 小川知至(師瑛) 鈴木二郎(横芝) 土屋嘉彦(横芝) 鶴之澤正夫(横芝)

会合は、今回の卒寿会を最後とし、「匠中十八回卒業生便り」は、15号に及び、同級生の相互交流を果たしてきたが、原稿集めも困難となりとりあえず休刊とした。入学は太平洋戦争勃発の年、



同窓会幹事 (全日制:第70回/定時制:第64回)

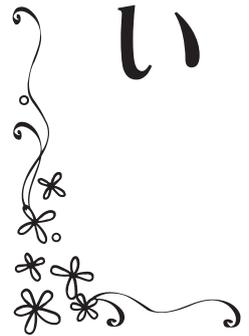
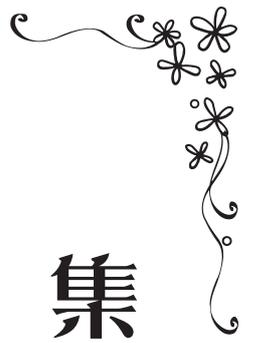
平成29年度卒業し、同窓会の幹事となった方々は次のとおりです。

全日制第70回 同窓会幹事

クラス	氏名	かな
A	遠藤 希	えんどう のぞみ
B	新行内雄太	しんぎょううち ゆうた
C	伊藤 千華	いとう ちか
D	大柳 莉奈	おおなぎ りな
E	渡辺 睦斗	わたなべ りくと
F	高橋 悟志	たかはし さとし
G	穴澤 佑翔	あなざわ ひろと
H	飯島 紘夢	いいじま ひろむ

定時制第64回 同窓会幹事

クラス	氏名	かな
P	土屋 杏莉	つちや あんり



集い

匠高無線部OB会 第13回目のOB会を実施

10月18日(木)12時30分、旭のホテル・サンモールを会場に13回目の匠高無線部OB会を開催する。

気まぐれの天候続きの中で、束の間の晴天に恵まれ幸いであつた。



第13回匠高無線部OB会

38名に案内を出し、参加者は13名。エントリーは16名あつたのだが直前に風邪などで3名がキャンセルとなる。武田公生さん(高4)は3、4年ぶり、愛知の小林茂俊さん(高8)は5年連続の参加だが、京都の林邦夫さん(高11)はエントリー後に人間ドックで「？」があり検査のため欠席に変更だった。また、江波戸弘己さん(高6)が1月8日に逝去された。この会の常連であり、現役の社長でバリバリ仕事もされていたのに残念—ご冥福を祈る—。

不参加の理由も、仕事が忙しく手が抜けない人、老化現象や闘病生活で出て来られない人と明暗様々である。

菅谷稔さん(高10)の司会・進行で開会、幹事の経過報告を兼ねた

挨拶のあと、大木喜好さん(高4)の音頭で乾杯し宴会に入る。

70年前の青春の思い出から、終活の現況まで、様々な話題に自分を重ね合わせて聞き入る。

「匠高無線部OB会」知る人のみぞ知る。だが、同窓とはいえずあつたこともないメンバーが無線部というだけで集まり、和気あいあいの話が弾むとは…。

あの薄暗い階段下の部屋がこの不思議な絆を作っている根源なのだろうか？共通する我々の青春の原点か…？

来年は新元号になるし、再来年は東京オリンピックの年となる

平成30年度 つたの葉会 看護系同窓会を開催

平成30年10月14日(日)、匠磋高校の看護系同窓会を開催した。平成19年に50回生迄の同窓会名簿で約160名の方を拾い出した。全国に在住しておられるが、近隣の人達に声をかけて開催している。

高校側からは、猿渡総務部長様と宇野事務局長様のご出席をいただいた。平成30年卒の進路の傾向で多かったのは看護系、次が教員養成との説明があつた。看護系に進んだ者は専門学

る。何とかもう少し頑張つてこの会を続けたいと願いながら14時30分小林茂俊さんの中締めで約束できない再会を期待しながら解散する。

今回の参加者は、

中21回 片岡 工 林 秀夫

高1回 大関 正

高4回 大木喜好 伊藤幸次

高7回 吉田公生 武田重善

高8回 平山宗雄

高10回 加瀬 進 渋谷弘美

菅谷 稔 米本雅男

大関 正(高1)

小林茂俊

の13名であつた。

校も含めて60名とのこと。2年前の2倍、嬉しい限りである。今の看護界は、看護師の資格に加えて、認定看護師や専門看護師、更に診療看護師(≡特定看護師)という専門分野の資格をとれば生涯のキャリアアップができる。それらのことが選択の理由かなど勝手に解釈をした。今回初めて出席して下さった県外の方がいる。高校及び看護学校の1年先輩だ。在職中に気になっていった問題を定年退職後



平成30年度 つたの葉会

にNPOとして立ち上げ、多職種を巻き込んで発展させて組織化したという話に聞き入つてしまった。70才過ぎてても活躍する場所が結構あるものだと感じている。

現役の方は、出張とか研修などで日曜日でもなかなか出席できないようだが、やむを得ず欠席の方の通信欄には、退職後に日赤災害ボランティア等をしていて当日は説明会があるのでとか、東京国際フォーラムの臨床眼科学会に高校時代の視力障害のある同級生の同行をするのでとか書いてあつた。

出席者の中で3人が弓道部であり、在学中の話題で大いに盛り上がった。1人の方は今でも弓道を楽しんでいるそうである。参加者は皆さん元気であつた。来年も是非お会いしましょう。
渡邊 千恵(高18)

体育部 ◆ 同窓会シニアゴルフ大会

「第18回シニアゴルフ大会(50歳以上)」を10月24日に山田ゴルフ倶楽部で開催しました。高校2回生の江畑魁さんから高校30回生までの116名が参加し、気持ちよくプレーを楽しまれました。



した。

プレー終了後、匠瑛市長の太田安規様(高14)、県議会議員の宇野裕様(高28)、母校の田中康之教頭先生のご臨席をいただきました。その際、参加者の皆様から母校運動部へということから、佐藤会長から田中教頭先生へ寄付金が渡されました。

(写真)

また、例年商品の協賛をいただいております競技委員長の日下英義様(高12)、土川峰仙様(高12)、九十九里ファーム様からも

商品数を多く提供していただきました。あらためて御礼申し上げます。なお、上位成績は後記のとおりです。

終わりに、新元号となる来年5月27日(月)に、ゴルフ倶楽部成田ハイツリーに於いて第23回親睦大会を開催いたします。2月には各卒業回幹事にご案内を差し上げますので、多くの方の参加をお待ちしております。

【第18回シニアゴルフ大会成績】

◎ネットの部

優勝 岩岡久雄(高21)
準優勝 伊藤満晴(高23)
第3位 高木幸美(高20)

◎ベストグロスの部

総合 関 進一(高30)
シニア 平山良昭(高15)

体育部長 石橋 一裕(高26)

文化部 ◆ 新規部員を募集します

文化部では新規部員を募集しています。写真・絵画・陶芸・書・茶華道、また着付けなど、同窓会員の皆様が親しんでおられる特技や趣味の分野を生かし、どうぞ文化部へお入りください。

毎年6月に開催される同窓会総会を中心に、企画や反省のための部会を年に2回行っております。

文化部の活動を通し、様々な世代の同窓会員の皆様との交流が図れますことを期待しております。(連絡先：同窓会事務局 ☎73・1541 宇野)

◆ 文化部の活動

お茶では、四季を取り入れて支度をします。学校の部活ではなかなか限られてしまいますが、それでも、掛物、花入れ、茶

碗等々で楽しんでやっております。匠瑛高校には週に一度伺うのですが、生徒さんたちのしつかりとした挨拶には感心させられます。

部活では、交代でお茶の点前をいたします。なかなか全員でやることはできませんが、点前の順番を覚えることだけが茶の湯ではありません。一服を皆でおいしくいただくことも稽古です。

花を見て季節や情趣を感じる部屋を設える、点前の準備をする、かたづけをする、そちらの方が一番の茶の湯の稽古だと思えます。芳しくおいしいお茶で一刻を過ごす、そんな風に部活をやっていたらいいと思います。

飯島 美恵(高17)

葛陵祭・同窓会総会の行われた6月23日・24日に、「氏家次郎先生遺作・匠高ギャラリー」の作品が、西城館2階地域交流室で公開された。

能勢浩さん(高4)が中心となって企画準備し、匠美会の皆さんの協力もあり、会場が設けられた。

期間中は、美術室の倉庫に永らくお蔵入りとなっていた作品も展示され、また、氏家先生の養子ご夫婦も会場に見えられた。

氏家先生遺作・匠高ギャラリー 公開される



国道126号 駅前交差点

八日市場
駅前ホール

匠瑛市八日市場イ113
Tel 0479-73-5321

株式会社 荒井

<http://www.ekimaehole.co.jp>

野栄総合支所前通り東

野栄ホール

匠瑛市野手2235
Tel 0479-67-5353

高13回

荒井 淳一



眠りの専門店

わたしん

肩こり・腰痛でお悩みの方は

〒289-2516 千葉県旭市口の658番地
Tel 0479-62-0234 Fax 0479-63-9521

取締役会長 片山 勲 高13回

国境を越えて、地方から世界へ

11月15日(木)、越川和彦氏(高27)による講演会が行われた。越川氏は、匝瑳高校・一橋大学を経て、外務省に入省され



講師の越川さん

た。理数科の2回生として入学後、漠然とした海外への憧れから外交官を目指すようになった経緯、その夢を叶えた外交官としての仕事の難しさと遣り甲斐について話していただいた。私たちが普段の生活をする中で日本国内(それも地方)にいると、なかなか体験はおろか想像すらできないような海外での仕事について、様々な出来事をもとに話していただき、眼前にその様子が鮮明に浮かび、まるで追体験をできたよう

に感じた。貴重な時間となった。越川さんは、スペイン特命全権大使を最後に一旦外務省を離れ、現在は国際協力機構(JICA)で、ODAに係る仕事に携わっている。そして、広い視野を持って国境を越えた仕事に関わる後輩が一人でも多く出てくることを望んでおられるようだ。海外で活躍する卒業生も今後増えていくと思われる。この講演会を、一つのきっかけにして欲しい。匠高生として越川さんの講演に刺激を受け外交官になった、現在外務省に勤務されている塚田(旧姓 大塚)裕美さん(高50)のように。後輩たちよ、

後に続け。今回の講演を通して、越川さんから後輩たちに対する強いメッセージを送っていただきたい。自己の将来を見つめるとき、夢を持つこと、そしてできるだけ高い目標を掲げて挑戦し続けることが大切だ、安易な道を選択してはいけない…。講演を聴いた後輩たちが、それぞれが感じたことを自己の道で具現化できる日が待ち遠しい。講演会の聴講者の中には、越川さんの恩師である英語科の井上洋一先生(高8)や高校27回生の方もお見えで、講演後の応接室はさながらミニ同窓会のような賑やかさであった。

金田春雄先生 50回忌墓参

平成30年5月7日、旧音楽部員23名(高5~高12)で、八千代霊園にある金田先生ご夫婦の墓参りをした。

先生は、昭和27年から11年間音楽教師として匝瑳高校に勤務された。この間、各種合唱コンクールに参加し、合唱を通じて音楽の素晴らしさを教えていただいた。ご指導の結果、県代表として関東大会や全国大会に出場できた。また、部員にピアノ・声楽を指導し、その成果を全校生徒や地域の皆さんに発表する場として、毎年1月には音楽会を開催した。更に、テノール歌手奥田良三や東京放送合唱団・県内の優秀なアマチュア合唱団を招いての鑑賞会を開催し、全校生徒の音楽的素養を高める活動も行った。



在りし日の金田春男先生

創立30周年記念事業として、吉原敏雄氏(中1・当時は横浜国立大学教授)の詞に作曲し、現在の校歌【桜花咲き散るかげに…】となった。

昭和38年船橋高校転勤後は、千葉県や関東の合唱連盟の役員として活躍されたが、昭和45年2月玄関先で倒れ、急逝した。57歳だった。長年の活動が認められ、勲四等瑞宝章を受章した。

教え子の中には、音楽家・教育者として活躍している者も多く、中でも三人の息子さんは東京芸大作曲科に進まれ大学教授とされている。

50回忌の墓参りでは、墓前で匝瑳高校の校歌を合唱し、在りし日の先生を偲んだ。

伊藤 稔 (高10)

匝東会設立20周年 母校へ寄付



野球場からも見える大時計

総合建設業

阿部建設株式会社

代表取締役 阿部典義 (高18回)

本社/〒289-2504 千葉県旭市二の528番地
TEL 0479(62)1221 FAX 0479(63)7171
関東支店/〒260-0002 千葉県千葉市中央区旭町24-8
TEL 043(225)3730 FAX 043(225)4850
住宅事業部/旭ミサホーム/〒289-2504 千葉県旭市二の2119-1
TEL 0479(63)7633 FAX 0479(63)7644
干潟リサイクル工場/〒289-0501 千葉県旭市清和乙662
TEL 0479(68)3420 FAX 0479(68)4756
URL: <http://www.abeken.co.jp>

地域の皆さまへ

健康と笑顔をお届けします

毎日薬局

本社：匝瑳市八日市場イ2411
<http://www.mainichi1954.com>

お悔やみ申し上げます

ご遺族もしくは関係者からご連絡をいただいた方です。(平成30年10月31日受付分まで)
会員の訃報について、事務局まで情報をお寄せください。

- ◆**旧職員**◆
 - 大川周一(中15) 平成29年10月27日逝去
- ◆**会員**◆
 - 鈴木弘平(中4) 平成22年3月8日逝去
 - 前橋伴次(中10) 平成27年5月10日逝去
 - 石橋威(中13) 平成29年7月12日逝去
 - 渡辺文治(中14) 平成29年5月16日逝去
 - 大友麻次(中15) 平成28年7月15日逝去
 - 最上陽(中15) 平成28年12月6日逝去
 - 実川猛(中16) 平成28年3月21日逝去
 - 島田士朗(中16) 平成29年12月23日逝去
 - 岩立(宇井)寛(中17) 平成30年8月31日逝去
 - 高安稔(中17) 平成30年8月12日逝去
 - 吉井(小川)直(中18) 平成30年5月26日逝去
 - 佐久間三郎(中18) 平成29年10月23日逝去
 - 石井宏幸(中21) 平成30年3月25日逝去
 - 石井守(中21) 平成29年11月30日逝去
 - 鈴木八郎(中21) 平成30年7月13日逝去
 - 松山健(中21) 平成30年4月25日逝去
 - 山辺清三(中21) 平成29年11月27日逝去
 - 石毛博通(高1) 平成30年1月19日逝去
 - 鵜之澤進(高1) 平成30年4月13日逝去
 - 椎名和夫(高1) 平成29年8月25日逝去
 - 安藤(菅生)正(高1) 平成30年6月9日逝去
 - 花沢和雄(高1) 平成29年12月8日逝去
 - 山本秀夫(高1) 平成30年6月5日逝去
 - 熱田日出雄(高2) 平成29年5月31日逝去
 - 加瀬五郎(高2) 平成30年6月29日逝去
 - 松山敏(高2) 平成29年10月30日逝去
 - 宇津木舜作(高3) 平成29年3月5日逝去
 - 加瀬清秀(高4) 平成30年1月10日逝去
 - 岩井脩(高5) 平成30年1月12日逝去
 - 加瀬幸(高5) 平成29年4月22日逝去
 - 山崎克之(定昼1) 平成28年2月1日逝去
 - 江波戸弘己(高6) 平成30年1月8日逝去
 - 角田(越川)和郎(高6) 平成28年1月14日逝去
 - 高埜隆(高6) 平成29年10月31日逝去
 - 佐藤(伊藤)総史(高7) 平成28年9月12日逝去
 - 菱木邦雄(高8) 平成29年11月4日逝去
 - 齋藤(藤井)操(高8) 平成25年逝去
 - 沢田(高橋)正(定昼4) 平成30年2月5日逝去
 - 大津隆(高9) 平成29年9月18日逝去
 - 山際(佐藤)久子(高9) 平成29年10月28日逝去
 - 國井喜久郎(高10) 平成28年1月逝去
 - 加藤茂昭(高11) 平成29年6月4日逝去
 - 五十嵐(平山)和(高11) 平成26年1月31日逝去
 - 伊藤公夫(定夜5) 平成29年5月25日逝去
 - 宮田省一(高13) 平成30年8月25日逝去
 - 齋藤(増田)章子(高14) 平成27年11月16日逝去
 - 渡辺勝利(高15) 平成27年11月16日逝去
 - 浅野良栄(高19) 平成29年11月9日逝去
 - 笹本(宮内)公子(高20) 平成28年12月逝去
 - 大木公男(定夜18) 平成30年4月13日逝去
 - 渡辺(松田)之孝(高25) 平成30年2月7日逝去
 - 大木一男(高28普) 平成29年12月13日逝去
 - 高木康年(高29普) 平成29年12月13日逝去
 - 白土裕子(高36普) 平成28年9月20日逝去



匝瑳高同窓会 検索

ご覧ください 同窓会ホームページ

～ 会員登録で広がる交流の輪 ～

匝瑳高校同窓会のホームページをご存知ですか？同窓会員の「集いの広場」として開設しているホームページは、会員同士の情報交換の場としてご利用できます。また、会員登録を行うと自ら情報を発信することも可能です。皆さんもホームページを活用し、インターネットでつながる同窓の輪を広げてみませんか。



★ おめでとうございます ★

- ◆**長寿長老杖**
阿部 美明 (高11)
- ◆**瑞宝小綬章**
石井 稔 (高18)
- ◆**瑞宝双光章**
松井 安俊 (中19・20)
中村 亮太 (高18)
- ◆**藍綬褒章**
栗田 壮一 (高17)

※ 受章(賞)についての情報を事務局までお知らせください。

広告原稿を募集しています！

お問い合わせは事務局まで…
千葉県立匝瑳高等学校同窓会事務局
〒289-2144 千葉県匝瑳市八日市場イ1630
TEL. 0479-72-1541 FAX. 0479-73-6146

各種ご宴席・同窓会承ります。

成田ビューホテル

〒286-0127 千葉県成田市小菅700
TEL:0476-32-1111
支配人 齊藤 浩文 (高36回)



◆同窓会費とは◆

会費は1年間1,000円です。30年間分3万円が終身会費です。年会費納入者下欄の数値は、今回の納付年数となります。

納入書はホームページからも入手できますので、ご協力をお願いします。

※平成29年10月1日～平成30年9月30日
受領分



終身会費納入者

〔中19・20〕 椿 錦二
〔高1〕 石橋 英雄
〔定昼6〕 常世田 健
〔高11〕 加瀬 晃国
〔高12〕 竹内 将春
〔高13〕 鈴木 武雄
〔高16〕 伊藤美智子
〔定夜11〕 白井 和江
江波戸三男人
〔高18〕 杉山 静子
高梨 恒男
〔高19〕 伊藤 民雄
〔高20〕 大出 玲子
越川 敏雄

〔定夜14〕 鬼形イシ子
〔高21〕 鈴木 克己
田坂 良郎
〔高23〕 越川 実
柴 義章
山本まゆみ
〔高24〕 熱田 隆
勝股 完治
〔高25〕 福田 恵子
〔高26〕 向後 秀隆
新行内忠晴
高木 篤子
當時 久子
坂本 昇一
〔高27〕 嶋崎 玲
〔定夜22〕 江波戸晴夫

〔高29〕 柳田 弘子
久古 敦
〔高30〕 宇井 寛充
山本 和弘
〔高31〕 林 俊男
〔高33〕 石毛 啓
〔高34〕 林 克枝
〔高35〕 加瀬多恵子
〔高36〕 浪川 衛
野村富美江
〔高38〕 齊藤 直行
〔高39〕 宮崎 克子
〔高41〕 佐藤 正則
〔高42〕 中川 純男

〔高44〕 齋藤 真
西塚 実香
〔高45〕 高野 里美
〔高46〕 椎名 容子
戸村万理子
早川由美子
〔高48〕 阿曾 雅泰
伊藤 誠人
〔高51〕 林 禎和
〔高52〕 對比地方里子
高橋 淳
〔高59〕 中西 永莉
石井健太郎
〔高64〕 神子 美貴
鈴木 舞
高橋 奈々
土屋耕太郎
越川 修人

〔高5〕 椎名 洋子 3
〔高9〕 菅谷 良民 1
〔高10〕 鈴木 輝雄 5
〔定昼6〕 飯田 勝利 10
〔高13〕 片岡 浩 5
〔高14〕 渡邊 周作 1
〔高14〕 嶋田 豊 5
〔高15〕 鈴木 裕子 5
土屋 友幸 1
〔高15〕 岩井 敏子 1
寺田 宏一 3
〔高16〕 小作 勝利 10
関 満 5
〔高17〕 大木 行男 2
齊田 益江 10
林 鋭夫 1
〔高18〕 遠藤 孝夫 1
金杉 昇 10
椎名 文彦 10
鈴木 英司 5
〔高19〕 木内美代子 10
土屋 俊夫 1
〔高20〕 伊知地良洋 1

依知川克明 1
宇井 照子 1
加瀬 次郎 10
林 三千男 1
〔高21〕 福富 良子 5
〔高23〕 手塚 洋子 3
〔高24〕 遠田 綾子 3
〔高26〕 小林 茂子 1
〔高27〕 加瀬 一也 10
鈴木 由子 5
〔高28〕 石井 康雄 5
林 みつ子 5
高橋 雅行 2
〔高29〕 秋庭 孝章 10
押田 明裕 1
萩原 勉 5
大木美和子 5
〔高33〕 加瀬 仁 1
〔高35〕 伊藤 寿洋 5
桜井 隆宏 1
瀧田 進市 5
〔高37〕 渡邊 錦一 5
〔高38〕 大黒佳代子 10

〔高39〕 石見 輝男 5
〔高40〕 渡邊あゆみ 1
渡邊由美子 5
〔高41〕 萩田 隆一 5
〔定夜35〕 鈴木 好江 5
〔高42〕 坂部 正江 1
〔高44〕 高橋 政雄 10
後藤 秀明 3
〔高45〕 田村ゆう子 1
〔高48〕 飯嶋 知希 5
〔高49〕 古作 竜平 10
渡邊 陽介 20
〔高52〕 熱田 圭佑 10
〔高53〕 石井 智子 5
〔高54〕 岩橋さつき 5
柴田 剛 5
〔高55〕 高畑 真弓 10
〔高56〕 實川 美邦 5
〔高58〕 遠藤麻里枝 5
椿 理恵 5



大木 雅貴 5
〔高61〕 渡邊あゆみ 1
〔高62〕 石川 裕也 3
〔高63〕 枝川 良祐 2
〔高64〕 齋藤紗和子 1
齋藤 静吾 3
田村 優佳 1

年会費納入者

編集後記

会報52号を発行するにあたり、母校や同窓会、さらには同窓生の現状をご理解いただけるよう編集に努めました。今回は、社会人として活躍する同窓生の写真や原稿を表紙として新たに掲載しました。執筆にご協力いただいた方、原稿を寄せていただいた方に御礼申し上げます。今後も同窓生の情報を数多くお寄せいただければ幸いです。願ひ申し上げます。

編集委員長 平山孝雄

※紙面の都合で、原稿すべてを掲載できません。ご了承ください。

《第52号編集委員》

平山 孝雄 (高24)
太田 和利 (高27)
塚本 貢市 (高30)
高橋 康二 (高31)
武田 英樹 (高32)
小泉 泰孝 (高39)
佐藤 正樹 (会 長 / 高26)
宇野 典男 (事務局 / 高30)